

～サッカーチームを活かした地域活性化～

アルテリーヴォ和歌山とは

アルテリーヴォ和歌山は、和歌山市を本拠地に、将来のJリーグ入りを目指して活動する社会人サッカークラブです。現在は関西サッカーリーグ（日本の地域リーグ）で戦っており、地域トップレベルの力を持つチームとして優勝もしています。クラブは地域貢献や子ども向けスクールも行い、和歌山のサッカー文化を盛り上げる存在です。

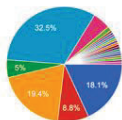


アンケート分析

試合の来場者について、アルテリーヴォ和歌山に対する思いについて対する思いについて、状況を把握するために2025年7月13日の試合の際に、来場者を対象にアンケートを実施しました。

実施日：7月13日 回答者数 160件 『和歌山から悲願のJリーグへアンケートご協力をお願い』

このクラブを、最初にどこで知りましたか？ (必須回答)
160件の回答



● SNS (X, 旧Twitter) / Instagram / F...

● クラブのホームページ

● チラシ

● ポスター

● ラジオ

● 家族・知人から

● 会社

● 新聞

▲ 10 ▼

ご年齢をお聞かせください。 (必須回答)
160件の回答



● 10代未満

● 10代

● 20代

● 30代

● 40代

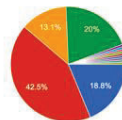
● 50代

● 60代以上

● 回答しない

▲ 10 ▼

どなたと来場されましたか？ (必須回答)
160件の回答



● 一人

● 家族と

● 子ども(12歳以下)と

● 友人と

● サポーター

● 会社

● サッカーチーム

● チームのメンバー

▲ 10 ▼

クラブを知ったきっかけとして、チラシが2割であり、これまでクラブが取り組んできた学校でのチラシ配布が功を奏したことが分かりました。また家族友人からが3割を超えており、今年度は実現しませんが、企画考案していた「友人招待キャンペーン」も試合集客や認知度向上に効果的であると考えられます

- ・30代、40代が多く20代の若年層が少ない
→SNS発信に力を入れる
- ・「家族と」が最も多く、その次に「友人と」、「一人」
→家族で楽しむ企画やお誘いキャンペーン、一人観戦需要を満たすものが必要

試合会場に行って感じたこと

- ・会場には子ども連れの来場者が多く、試合後には選手と写真撮影をする子どもや女性ファンの姿が多く見られた。
- ・サッカー少年がたくさんいた
- ・屋台のフードを楽しみながら観戦している人も多く、試合以外の場面でも楽しんでいる様子が見られた。

【マイナスと感じた点】

- ・試合後の写真撮影では混雑が見られたため、もう少し時間に余裕があれば、より落ち着いて写真撮影ができると感じた。
- ・子どもと選手が近くで関われる機会がさらに増えると、より多くの子どもにとって思い出に残る体験になると感じた。
- ・ユニフォームなどのグッズを身につけている人が少なかったように感じた。



来年度に向けて

今期から始まったこのLPPで私たちは現地での試合観戦やボランティア、アンケート調査などを行い、アルテリーヴォ和歌山の現状を見ることができた。しかし、今期の活動では、私たちが考えた企画を実行することができなかった。来期は今期の活動で分かったアルテリーヴォ和歌山さんの課題を解決することができるような企画を考え、実行したいと考えている。そのためにも、アルテリーヴォ和歌山さんとのコミュニケーションを増やすことや、学生間での話し合いの時間も増やしていく必要があると考えている。今後とも頑張っていきたい。